

<第 4504 回>

目的地：トムラウシ山（大雪山系）

担当者：鶴田M

実施日：2024年7月12日（金）～16日（火）

形式：テント泊縦走

費用：¥. 22,080-（旭川駅～登山・宿泊～新千歳駅）

参加者：2名

行程：

7月12日 天気：曇時々雨

旭川駅前(12:15)＝(道北バス)⇒(14:10)層雲峡(14:40)＝(黒岳ロープウェイ)⇒(14:50)5合目

[食事](15:30)＝(黒岳リフト)⇒(15:40)7合目(15:50)→(17:15)黒岳(17:30)→(18:00)黒岳石室

7月13日 天気：晴

黒岳石室(6:40)→(8:30)北海岳(8:50)→(10:30)白雲岳避難小屋(11:00)→(12:30)高根が原→

(13:30)平が岳→(15:00)忠別沼→(16:00)忠別岳(16:10)→(17:30)忠別岳避難小屋

7月14日 天気：晴

忠別岳避難小屋(5:30)→(6:30)五色岳(6:45)→(8:30)化雲岳(8:45)→(10:15)天沼(10:30)→

(12:30)北沼[昼食](13:00)→(13:45)南沼キャンプ場[テント設営](15:00)→(15:30)トムラウシ山(16:00)→(16:30)南沼キャンプ場

7月15日 天気：晴

南沼キャンプ場(6:00)→(7:00)トムラウシ公園(7:10)→(7:50)前トマム平(8:00)→(8:50)コマドリ

沢分岐(9:00)→(10:30)カムイ天上[昼食](11:00)→(11:50)温泉コース分岐(12:00)→(13:40)

トムラウシ温泉

7月16日 天気：晴

トムラウシ温泉(9:45)＝(送迎バス)⇒(10:30)JR新得駅(11:50)＝(JR)⇒(13:47)JR新千歳駅

感想：心細い年金生活の中 体力も低下していくし、誰かが計画してくれるのを待っている余裕はない…
と思い切って 人気のトムラウシ山 王道コースの 北海道遠征を計画してみました。

いざ 行ってみて 一番の驚きは「北海道、でっかいど～！」の景色が そのまま山の上に展開。

お花畑が半端ない評判は聞いていましたが、どこまでも広がるお花畑や色とりどりの高山植物が咲き乱れる生景色に感動して たっくさん写真を撮りました。でも 素人にはあの感動を写すのは無理と改めて認識させられました。

3日目、ようやく化雲岳で 雲隠れしていたトムラウシ山の特徴的な山容が現れて 感激。

そして とうとうトムラウシ山頂に立てて 感激。トムラウシ山頂からの雄大な眺望に感激。

今回の例会も たくさん感動できました。ありがとうございました。

帰ってから 花の名前を調べる前に あの果てしなく広がる台地の成り立ちが気になって調べると「溶岩台地」とゆうらしい。粘性の低い溶岩が広大な台地状の地形を作り 台地上は乾燥した中に湿地が各所に見られ、植生が豊富。これをアイヌ人は「神々の遊ぶ庭」と名付けた…と。

2日目と3日目は 高根が原、平ヶ岳、忠別岳、五色が原、化雲岳、と どこまでも広がる神々の遊ぶ庭とそこに咲き乱れる高山植物を堪能。ちなみに 1日目の黒岳や 2日目の北海岳は 溶岩台地より後にできたカルデラ火山。3日目のトムラウシ山も溶岩台地より新しい火山で トムラウシ山の周りには 大きな溶岩がゴロゴロ テトラポットのように重なって 行く手を阻むし、ロックガーデンでは溶岩が石垣のように積み上がり、高～い壁を造って トムラウシ山に近づくのを拒んできます。

ひと続きの大雪山系なのに 随分違った地形が楽しめました。

特記：登山者には飛行機は厄介な交通機関です。ガスボンベや着火用ライター、熊スプレーも持ち込めないし、検査で登山靴は脱がされるし。参考までに…ガスボンベ等 飛行機に持ち込めない物でもヤマト運輸は運んでくれます。

トムラウシ山の最寄駅 JR 新得駅には ごみ箱がありません。自販機はありますが、ペットボトルの回収箱さえありません。トムラウシ温泉東大雪荘も 登山者向けに「ごみ捨て禁止」の貼り紙がしてあり ごみ箱がありません。携帯トイレが義務付けられていたりして(携帯トイレは専用の回収箱ありはありますが、一般ごみも見られたので そのうち回収箱も撤去されるかも) 登山者のゴミに神経を尖らせているようです。